

地震：南海トラフ地震

Earthquake: Nankai trough earthquake

静岡から九州近辺まで伸びている海溝(南海トラフ)では、「東海地震」、「東南海地震」、「南海地震」が、おおむね100年から150年の周期で発生しています。南海トラフ地震は、この3つの地震の震源域を合わせた範囲よりも広い範囲を震源域として想定した地震です。

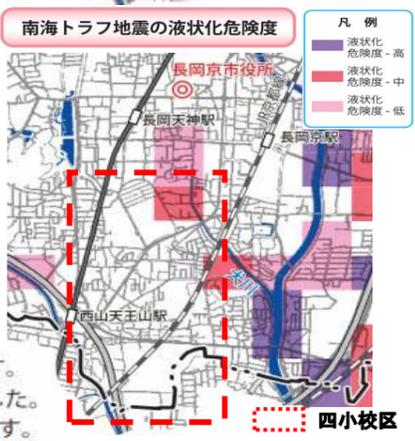
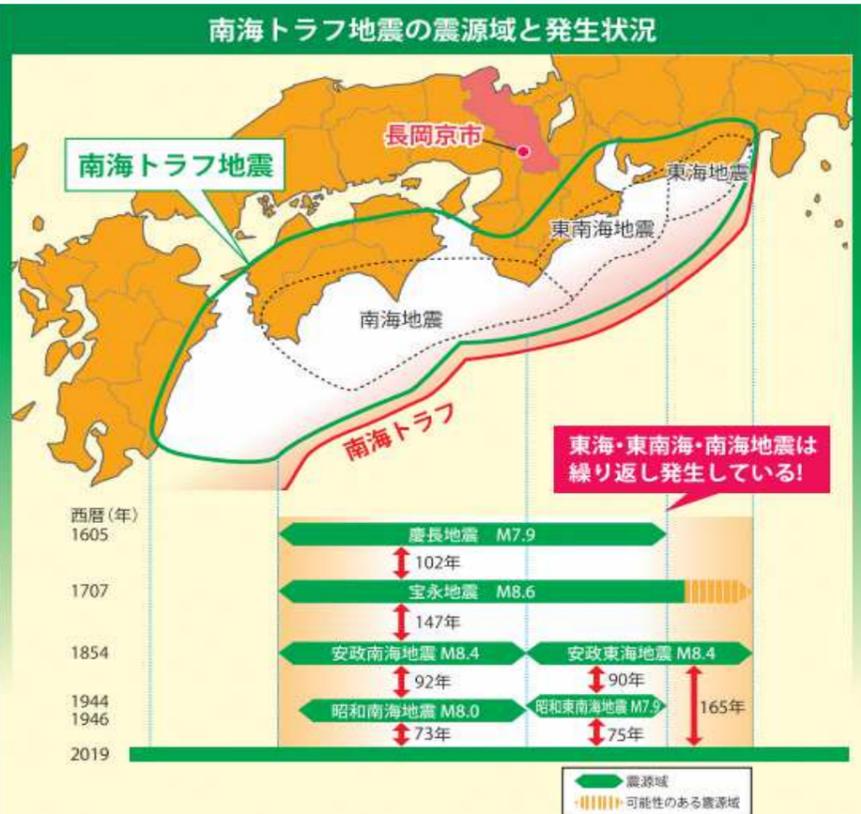
※震源域・・・地震の発生によりずれ動いた岩盤の範囲のこと。震源域が広いほど規模の大きな地震となる。

西日本一帯に被害

Disaster for all West Japan

どのくらい揺れるの？

How strong is the shaking?



地震：有馬-高槻断層地震

Earthquake: Arima - Takatsuki fault earthquake

周辺の活断層

Closest active faults

どのくらい揺れるの？

How strong is the shaking?

断層位置図

長岡京市の周辺にもたくさんの活断層があります。



有馬-高槻断層帯地震は、市に最も被害を及ぼす可能性がある地震です。市域には震度6弱～7の強い揺れが予想されています。



○京都府は、平成20年(2008年)に府域へ影響が懸念される活断層(22断層)による地震についての地震被害想定調査を実施しました。

○長岡京市において最も大きな被害を及ぼすことが予測されているのは「有馬-高槻断層帯」による地震です。

地震ごとの被害想定

No	断層名	M	市内最大震度	建物全壊	建物半壊	死者数(冬早朝)	負傷者数	避難者数
1	花折断層帯	7.5	6強	3,390	6,460	240	1,900	24,000
2	花折断層帯	6.6	6弱	290	1,500	10	270	4,340
3	黄檗断層	6.5	6弱	150	910	-	160	2,580
4	奈良盆地東縁断層帯	7.5	6弱	480	2,130	20	420	6,330
5	龜岡断層	6.7	5強	120	760	-	130	2,130
6	西山断層帯	6.6	6強	3,640	6,610	260	2,000	25,040
7	殿田-神吉-越畑断層	7.2	6弱	1,230	3,890	80	890	12,440
8	光明寺-金ヶ原断層	6.8	6強	3,110	6,220	220	1,780	22,700
9	三峠断層	7.2	5弱	-	10	-	-	40
10	上林川断層	7.2	5弱	-	30	-	-	100
11	若狭湾内断層	6.9	5弱	-	10	-	-	40
12	山田断層帯	7.4	5弱	-	-	-	-	10
13	郷村断層帯	7.4	5強	10	130	-	10	350
14	上町断層帯	7.5	6弱	260	1,350	-	250	3,860
15	生駒断層帯	7.5	6強	1,860	4,830	130	1,200	16,270
16	琵琶湖西岸断層帯	7.7	6弱	800	2,980	50	640	9,210
17	有馬-高槻断層帯	7.2	7	7,200	8,310	520	3,260	37,820
18	宇治川断層	6.5	6強	960	3,270	60	730	10,310
19	木津川断層帯	7.3	6弱	550	2,340	30	470	7,020
20	増生断層	6.9	6弱	1,140	3,710	70	830	11,730
21	養父断層	7.4	5強	10	170	-	20	490
22	和東谷断層	6.7	5強	30	310	-	50	850

地震発生時にすべきこと

発生直後命を守る	揺れが収まった後	5～10分後	10分後～数時間後
<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて、自分の身を守る。 ドアや窓を開けて、出入り口を確保する。 火元から離れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 火元を確認する。 家族の安全を確認する。 靴を履く。(ガラスの破片から足を守る。) 非常持出品を手元に用意する。 余震に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣近所の安全を確認する。 ラジオなどで情報を確認する。 電気のブレーカーを切る。 ガスの元栓を閉める。 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 協力して消火・救助活動をおこなう。 生活必需品は備蓄でまかなう。 災害情報、被害情報の収集をする。 壊れた家には入らない。 引き続き余震に注意する。

地震への備え

震度と揺れによる周囲の状況

避難勧告



震度4	震度5強	震度6強
<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く。 電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。 座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなと歩くことが難しい。 棚にある食器類や本は落ちるものが増える。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> はわなと動くことができない。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
震度5弱	震度6弱	震度7
<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 棚にある食器類や本が落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが増える。